

改訂日 2022年4月25日 (第8版)

## 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名	サブマーシ®
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海1丁目8番10号オフィスタワーX 21階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1027
Eメールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
推奨用途及び使用上の制限	展着剤

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

物理化学的危険性:	引火性液体	区分2
健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	区分4
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	生殖毒性	区分1B
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(中枢神経系, 視覚器, 全身毒性)
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(中枢神経系, 視覚器)
環境に対する有害性:	水生環境有害性 短期(急性)	区分3
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分3
	* 記載がないものは「区分に該当しない(分類対象外を含む)」または「分類できない」	

## ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	引火性の高い液体及び蒸気。 飲み込むと有害。 皮膚刺激

眠気又はめまいのおそれ。  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。  
臓器(中枢神経系, 視覚器, 全身毒性)の障害。  
長期にわたる、又は反復暴露による臓器(中枢神経系, 視覚器)の障害。  
水生生物に有害。  
長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き:

**【安全対策】**

使用前に取扱説明書入手する。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。  
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざける。禁煙。  
容器を密閉しておく。  
容器を接地しアースをとる。  
防爆型の**【電気機器／換気装置／照明機器／機器】**を使用する。  
火花を発生させない工具を使用する。  
静電気放電に対する措置を講ずる。  
ミスト／蒸気を吸入しない。  
取扱い後は皮膚をよく洗う。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしない。  
屋外又は換気の良い場所でだけ使用する。  
環境への放出を避ける。  
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用する。

**【応急措置】**

飲み込んだ場合:気分が悪いときは医師に連絡する。口をすすぐ。  
皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐ。皮膚を水【又はシャワー】で洗う。  
衣類を再使用する場合には洗濯をする。  
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
気分が悪いときは医師に連絡する。  
皮膚刺激が生じた場合:医師の診察／手当てを受ける。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察／手当てを受ける。  
火災の場合:消火するために乾燥砂、粉末消火剤(ドライケミカル)又は耐アルコール性フォームを使用する。

**【保管】**

換気の良い涼しいところで保管する。容器を密閉しておく。  
施錠して保管する。

**【廃棄】**

内容物や容器を廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号	CAS No.
アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム	50	—	3-1906	69227-09-4
有機溶剤等 (メタノール)	50 (48)	— (CH <sub>4</sub> O)	— (2-201)	— (67-56-1)

### 4. 応急措置

一般的アドバイス	緊急連絡先、中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、製品容器、ラベル、安全データシートを手元に用意する。
吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移す。呼吸をしていない場合や呼吸が不規則な状態である場合、人工呼吸を施す。安静・保温に努める。直ちに医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類を脱ぐ。直ちに多量の水を用いて洗い流す。皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡する。汚染された衣類は再使用する前に洗濯する。
眼に入った場合	直ちに多量の水で 15 分間以上まぶたの内側も含め洗う。コンタクトレンズを外す。医師の診察／手当を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師の手当を受ける。医師に製品容器又はラベルを見せる。無理に吐かせない。
最も重要な急性および遅発性の症状	特異的な症状はない。 既知または予想される症状はない。
医療関係者への情報	特定の解毒剤はない。 対症療法を行う。

### 5. 火災時の措置

消火剤	小規模火災時： 噴霧放水、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素 大規模火災時： 耐アルコール性泡消火剤、噴霧放水
使ってはならない消火剤	棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。
特有の危険有害性	可燃性有機成分を含有するため、火災時に有害性物質を含む黒煙が発生するおそれがある(「10. 安定性及び反応性」参照)。 分解生成物へのばく露は健康を害する可能性がある。

消防士へのアドバイス  
 消火を行う者の保護  
 詳細情報

完全な保護服と自給式呼吸器を着用する。  
 消火水を排水路や水路に流出させない。  
 火にさらされた密閉容器は散水して冷やす。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

「7. 取扱い及び保管上の注意」および「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行う。

環境に対する注意事項

地表水や下水システムに排水しない。

封じ込め、浄化の方法及び機材

製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関係当局に連絡する。

漏出物を封じ込めて不燃性の吸収剤(砂、土、珪藻土、バーミキュライトなど)で吸収して容器に入れ、地域/国の規制に従って廃棄する(「13.廃棄上の注意」を参照)。

汚染面を十分に浄化する。

洗剤で拭く。ただし溶剤は避ける。

汚染された洗浄水を回収し、処分する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- ・個人用保護具に関する情報については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照する。
- ・危険物第4類第1石油類に属するので、火気には十分注意する。
- ・眼や皮膚への接触を避ける。
- ・取扱い時には飲食、喫煙をしない。

保管

- ・換気のよい乾燥した冷暗所で、容器を密閉して保管する。
- ・小児の手の届く所には置かない。
- ・食品、飲料や飼料と区別して保管する。
- ・消防法の定めに従う。火気厳禁。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

- ・取扱い時にはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
- ・取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。

管理濃度

メタノール ACL(安衛法) 200 ppm

許容濃度

メタノール OEL-M(日本産業衛生学会) 200 ppm  
 260 mg/m<sup>3</sup>

保護具	呼吸器用の保護具	防護マスク
	手の保護具	不浸透性手袋
	眼の保護具	ゴーグル型保護眼鏡、保護面
	皮膚及び身体の保護具	耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	淡黄色
引火点	12.5 °C (セタ密閉式)
pH	5.74 (1%、20°C)
密度	0.95 g/cm <sup>3</sup>

## 10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下では安定。
反応性	ほとんどないと考えられる。
危険有害反応可能性	通常の使用条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	取扱条件に従っているとき、特になし。
混触危険物質	知見なし。
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

## 11. 有害性情報

本製品の情報		
急性毒性		
経口	ラット LD50	5656 mg/kg(♂), 1569 mg/kg(♀)
経皮	ラット LD50	>2000 mg/kg(♂, ♀)
皮膚腐食性/皮膚刺激性	ウサギ	刺激性あり(原液)、 刺激性なし(3000 倍希釈液)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	ウサギ	軽度の刺激性あり
呼吸器感作性又は皮膚感作性	モルモット	皮膚感作性なし
発がん性	メタノール: 動物検査において発ガン性の証拠はない。	
生殖毒性	区分1Bに分類されるメタノールをカットオフ値の0.3%以上含有することから区分1Bとした。	

特定標的臓器毒性  
(単回ばく露)

区分 1 (中枢神経系, 視覚器, 全身毒性)及び区分3(麻酔作用)に分類されるメタノールを区分 1 のカットオフ値の 10%以上、区分 3 のカットオフ値 20%以上含有することから区分 1 (中枢神経系, 視覚器, 全身毒性)及び区分3(麻酔作用)とした。

特定標的臓器毒性  
(反復ばく露)

区分 1 (中枢神経系, 視覚器)に分類されるメタノールを区分 1 のカットオフ値 10%以上含有することから区分 1 (中枢神経系, 視覚器)とした。

## 12. 環境影響情報

本製品の情報

生態毒性

魚類	コイ LC50 (96hr)	60.4 mg/L
甲殻類	ミジンコ EC50 (48hr)	13.5 mg/L
藻類	緑藻 EbC50 (72hr)	53.7 mg/L
	ErC50 (72hr)	174 mg/L

## 13. 廃棄上の注意

注意事項

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

空容器を廃棄する場合は、内容物を除去し、3 回すすいでから適切に処分する。

## 14. 輸送上の注意

国際規制

・国連番号	1993
・国連輸送名	その他の引火性液体(他の危険性を有しないもの)(メタノール)
・国連分類	3
・容器等級	II
・海洋汚染物質	非該当

輸送時の安全対策

運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。直射日光、風雨に直接暴露しない状態で輸送する。

## 15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 20658 号
労働安全衛生法	法第 57 条の 2 通知対象物質 メタノール
化管法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	危険物第 4 類第 1 石油類(水溶性液体)

## 16. その他の情報

記載内容の取扱い	<p>製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者へ提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。</p> <p>この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。</p> <p>当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。</p>
問合せ先	<p>担当部門 電話番号</p> <p>HSEグループ 03-6221-1027</p>
中毒の緊急問合せ先	財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け受信相談 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1 件につき 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9-21 時)	029-852-9999	029-851-9999